

## ご決定前に必ずご確認頂きますようお願いいたします

### HSS スピーカー設置・設定に関してご注意頂く点

- 1) リスナーの方の顔に直接音が当たるように、スピーカーの向きを注意深く設定してください。非常に指向性が強いために、音の方向が少しずれるだけでも、聞こえ方に大きな差がでます。スピーカー角度を自在に調整できる取付金具をご使用になることをお勧めします。
- 2) 反射音によって指向性が損なわれる場合があります。反射音が顕著な場合は、スピーカーからの音が直接当たる場所（指向性が強いので特定が容易です）に吸音材を置く等の対応をとって頂きますようお願いいたします。
- 3) スピーカーとリスナーの間に障害物（薄い紙なども含め）があると、音が届かなくなります。スピーカーの前面には物が無い状態にして下さい。
- 4) 大音量を出すスピーカーではありませんので、騒音状態の激しい場所に設置される場合には、事前調査を行って下さい。
- 5) 音量は 30 分程度経たないとピークに達しませんので、音量設定の際はご注意ください。
- 6) アンプに音量設定機能がついていないので、音源プレイヤーの音量コントロールもしくは、プリアンプ、ミキサーアンプをご使用頂きますようお願いいたします。
- 7) 音量を上げると音が歪む場合がございます。低音域が特に歪みやすい傾向にありますので、音の歪が認められる場合は、ミキサーアンプ等の EQ で低音域の入力をカットするようにして下さい。
- 8) アンプを 24 時間以上連続して通電した状態にしないようにして下さい。24 時間のうち、一定時間（2 時間以上程度）は、アンプの通電状態が off の状態になるようにして下さい。
- 9) アンプには on/off スイッチがついていないため、電源の入切で on/off を行って頂く必要がございます。
- 10) アンプからスピーカーに送信される高調波は干渉に非常に弱く、ノイズ発生の原因となります。アンプとスピーカーの間は長さ 10m 以内、12AWG 程度のスピーカーケーブルをご使用下さい。
- 11) スピーカーケーブルの長さが 10m 以上になる場合は、事前に現場調査を行って下さい。ノイズが発生する場合は、シールドケーブルもしくは金属管をお試し下さい。
- 12) スピーカーケーブルの長さが 10m 以内の場合でも、設置場所によってはノイズが発生することもありますので、ご注意頂きますようお願いいたします。